

特別支援学校向け消費者教育用教材等制作検討会（第2回ワーキンググループ）

開催概要

■日時：令和2年9月29日（金）14：00～16：00

■場所：新未来創造戦略本部会議室

■出席委員

井上座長、坂本座長代理、粟飯原委員、大久保委員、黒田委員、中西委員
（その他、オブザーバーとして徳島県が出席。）

■ワーキンググループにおける主な意見

- ・契約の権利義務についての説明は、お金や具体的な親しみやすい商品が矢印に沿ってアニメーションで動くといい。
- ・テーマの中でも生徒の状況により理解が難しい内容もあるため、生徒に応じて組み合わせさせて使えるようにしておくといい。
- ・問題の選択肢など生徒の状況に応じて変更できる形になっていれば、活用する際に教員が加工し対応すればよい。
- ・トラブル事例に関しては、親しみやすい同年齢の人や素敵な異性からの投資や情報教材の購入等の誘いがあるので気を付けるべきと伝えることが必要。自分で判断することが難しい場合は、ノーと言えることを知ってほしい。
- ・クーリング・オフは、取引別にできる期限が決まっているが、期限が過ぎてしまってから相談しても困るので、いつまでできるかを強調して、カレンダーのイラストなどで具体的に説明するとよい。
- ・イラストは、なるべくゲームや食事をしている様子など具体的なものにしたい方がよい。

■今後の予定

日程調整の上、特別支援学校において教材の試行を実施。

以上